



防災だより

（発行元）愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



愛南町では、風水害や地震・津波災害などによる被害を最小限に抑えるため、防災に対する各種事業を展開し、防災対策を進めています。

しかしながら、災害はいつどこで発生するか分かりません。被害を最小限に抑えるためには、町民の皆様が防災意識を高めていただき、災害に対する事前対策をしていただくことが大切です。

そこで、防災に対する知識の普及啓発をはじめ、各自主防災組織の取組状況や愛南町が実施する事業などについて紹介するために、「防災だより」を発行します。

ご家庭や地域での防災対策にご活用ください。

まずは身近な備えから

近い将来に発生が危惧されている「南海トラフ地震」では、最大震度7の大地震が想定されています。私たちが生活していく上で家具類は必需品ですが、大地震の時は凶器に変身します。

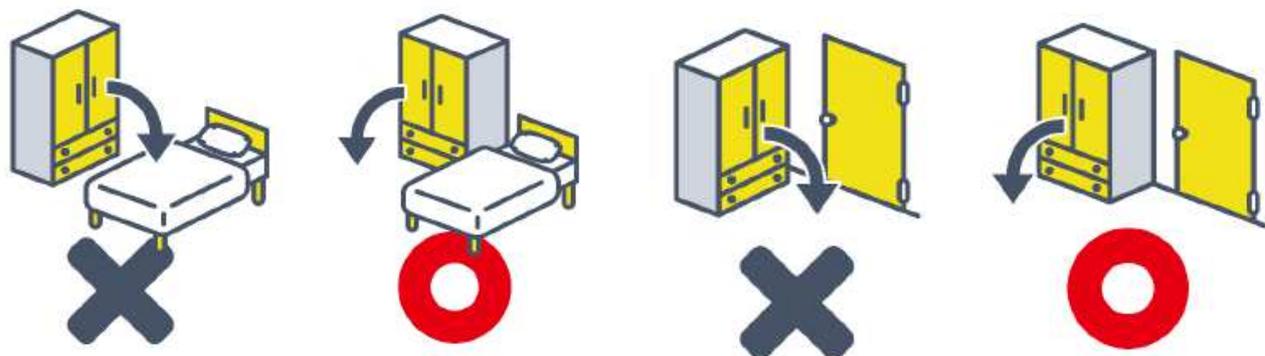
家具類の転倒や落下により、家具の下敷きになったり、逃げ道をふさいだり、割れた食器やガラス等でケガをしたりするなど、いろいろな危険をもたらします。

「大地震では、家具は必ず倒れるもの！」と考えると、日頃から家具等の配置の見直しや固定するなどの対策をとり、家庭内での安全を確保しましょう！

●家具の配置から工夫しましょう！

寝室や子供部屋など、ご家族やお子さんが長時間過ごす部屋には、できるだけ家具を置かないようにしたり、背の低い家具だけを置くようにしたりして工夫しましょう。

また、万が一家具が倒れてきたときに、寝ている人や座っている人に家具が直撃しないように、また、出入口をふさいでしまわないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。



下敷きにならない位置に配置する

出入口をふさがない位置に配置する